



貴志川線の未来を“つくる”会
kishigawa-sen.jp

貴志川線の未来を“つくる”会

VOL 15
2019.6

発行／貴志川線の未来を“つくる”会 発行者／木村 幹生
〒640-0361 和歌山市伊太祈曾 558 TEL073-478-0053 FAX073-478-0998

和歌山電鐵貴志川線 平成30年度実績

さらなる利用者減少に加え、災害の 大ダメージが追い打ち 大幅な赤字を計上

利用状況

和歌山電鐵の平成30年度利用者数は、前年比3.8%減(8万3千人減)の208万6千人となり、**同社発足後13年目で初めて、210万人を割り込みました。**

利用者数	30年度実績	29年度比	
定期外	72万2千人	▲ 3万5千人減	4.6%減
通勤定期	63万3千人	▲ 2万2千人減	3.3%減
通学定期	73万1千人	▲ 2万6千人減	3.5%減
合計	208万6千人	▲ 8万3千人減	3.8%減

定期外については、夏の相次ぐ大型台風と酷暑による出控えが大きく響き、減少傾向にある外国人団体客は台風21号による閑空被災が追い打ちをかけ前期比で2割減、さらに沿線道路の整備も進んで日常利用も縮小し、結果4.6%の減少となりました。

通勤定期については、団塊の世代の本格的リタイアや少子化で就労者数が減り続ける中、沿線の道路整備も進み、3.3%の減少となりました。

通学定期については、少子化の影響が続いて3期連続でのマイナス、3.5%の減少となりました。

収支実績

輸送人員の減少に伴い、運輸収入は1千5百万円の減、また観光需要の低下によるグッズその他の減少も響き、車体広告料(動物愛護協会及び岡電チャギントン電車)の増加があったものの、営業収益全体では1千9百万円減の4億3千7百万円となっています。

また特記事項として、特に台風21号による山東~大池遊園間法面の倒木や土砂流出、そして伊太祈曾車庫の屋根飛散等の被災への対応で1千1百万円の復旧費を計上、さらに車両検査費用への国庫補助金のカット(東京五輪やインバウンド対策により地方民鉄への予算が削られているものと推察されます)により約6百万円の負担増となりました。

さらに会計基準の変更によって当期9百万円の費用計上も重なり、最終の当期損益は**3千5百万円の赤字**となりました。

結果として、前29年度の1千5百万円の赤字と合わせ、**累積損失は5千万円となり、債務超過の状態**に陥っています。

これから

28年度からは、自治体の支援は鉄道施設の更新に特化する形に衣替えし、施設の老朽化対策については年を追うごとに歩ずつではありますが更新を進め、安全性は向上しています。

しかしながら近年、●人口減少(少子高齢化)、●道路の整備、●インバウンドの沈静化、●国庫補助の減少、●相次いでいる自然災害、という状況の中、想定以上の利用者の減少が進んでいます。

装置産業ともいわれる鉄道のような交通機関は、収入が減少してもコストはほとんど変わりません。和歌山電鐵も自助努力として、利用促進活動や経費の削減を日々進めています。他の地方鉄道同様、それだけでは補いきれない状況となりつつあります。

この減少傾向が続けば、貴志川線の持続は相当に厳しいものとなります。

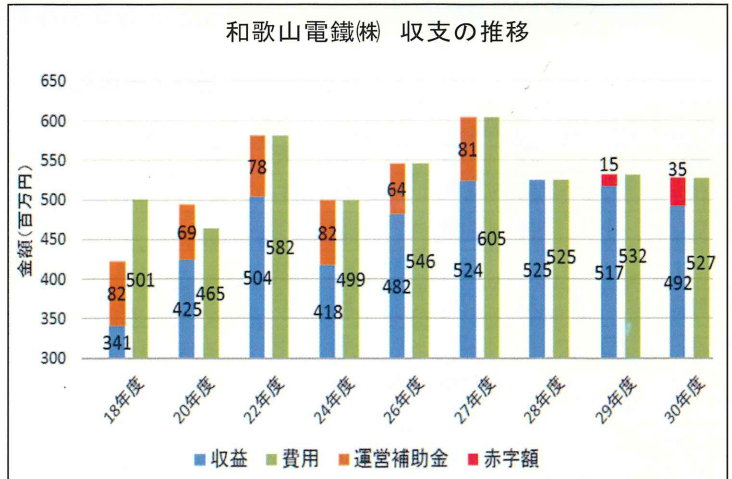
再び廃線という危機が現実のものとなると、皆様の生活がどうなるか、私たちの街がどうなるか、ぜひ思い浮かべてみてくだ

さい。

道路は確実に混雑し、車を運転できない学生は通学に不便を極め、お年寄りは外出の手段がなくなり、人が出てこなくなった街の活気は失われていくでしょう。和歌山県では人口の3人に1人が高齢者、という状況に近づいていますが、やむを得ず無理にクルマを運転することによる事故の増大、外出機会の減少による歩行障害や認知症リスクの増大なども懸念され、結果として社会全体が重荷を背負うことになりかねません。

これは、ふだん電車に乗る、乗らないにかかわらず、沿線に住むすべての方に関わる問題です。

13年前の和歌山電鐵発足以降、「つくる会」としてさまざまな利用促進活動を行ったこともあり、利用者は前事業者当時に比べて大幅に増え、住民の思い、パワーを示すことができました。そして再び、**苦しい状況にあるいまこそ、公共交通の必要性に改めて思いを馳せていただき、応援の輪を広げていきたい**と思います。



「チャレンジ250万人」運動を強力に進め持続させよう!

木村新代表へバトンタッチ 濱口前代表は顧問就任

貴志川線の未来を“つくる”会
新代表 木村 幹生

4月1日、濱口代表の後任として代表に就任いたしました。浅学菲才な身ではありますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

濱口さんは、“つくる”会発足以来、貴志川線の存続のため、私的な生活を投げ打って日夜奔走されました。お疲れさまでした。有り難うございました。

貴志川線は、“たま駅長”で世界的に有名になり、意匠を凝らした“たまステーション”や次々に生まれたデザイン電車によって、華やかな貴志川線になり、乗客も増加し、外国からのお客さんの訪問もたくさんあります。まことに有難いことです。

しかし現実には、年々の乗客の減少などによって、和歌山電鐵の経営は厳しさが増し、“つくる”会会員の減少にも至っています。

私たちは、貴志川線が、孫の代まで走り続けることを切望し、貴志川線を応援してまいります。

皆様方には、廃線が打ち出された“あの時”の燃えるようなご支援を、いま再びお願いする次第です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

貴志川線の未来を“つくる”会
顧問 濱口 晃夫

この度『貴志川線の未来をつくる会』の代表を引退し顧問に就任いたしました。皆様方には長い間色々のご支援、

(左
濱口前代表)



(右
木村新代表)

ご協力をいただきありがとうございました。心から御礼申し上げます。

思い起こせば今から十数年前貴志川線は廃線の危機に陥りました。当時の運営会社『南海電鉄』が突然撤退を表明したのです。高齢者や学生などの所謂交通弱者の貴重な交通手段が無くなってしまおうという最大の危機を迎えたのです。

一般の住民の方々から存続を願う声が多く上がりました。これを受けて私たちは住民団体『貴志川線の未来をつくる会』を立ち上げ貴志川線の存続、利用促進の運動を開始いたしました。

お蔭様で貴志川線沿線を中心にした地域住民の皆様が丸となって取り組んでくれた結果、行政のご理解ご支援を頂き廃線を免れ、今も貴志川線は存続し三位一体の鉄道として毎日走っています。しかし、現状は前途多難残念ながら安心できる状況ではありません。これを乗り越えるためには会員の皆さんには更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

濱口前代表に和歌山電鐵から感謝状贈られる



退任した貴志川線の未来をつくる会前代表の濱口晃夫に対し、和歌山電鐵から「感謝状」が贈られました。

2019年4月29日開かれたたま駅長誕生日イベントにおいて、贈呈式が行われ、和歌山電鐵小嶋社長から「濱口さんは、貴志川線が廃線の危機にあった時、住民組織を結成し貴志川線の存続に大きな貢献をされ、近年の住民運動として素晴らしい住民運動であった、両備グループが貴志川線の再生に関わったのはこの会からの依頼があったからで、この会の活動なくして貴志川線の存続はあり得なかった」と永年の運動を称える挨拶のあと感謝状が贈られました。

2019年度(令和元年)役員名簿

(2019年4月20日第1回定例会確認)

役職	名	前	役職	名	前	役職	名	前
顧問	濱口	晃夫	幹事	中西	由子	幹事	藤田	宗治
代表	木村	幹生		小山	裕史		次田	尚弘
副代表	奥	重視		吉本	昌純		宮脇	正好
	川村	記義		岩垣	勉		鳥淵	朋子
事務局長	奥山	和生		山下	日出子		中西	望
事務局次長	奥	重貴		梶本	祥子		大谷	豊
	堀内	健作		西本	哲夫		岸	光男
	富高	彰		川口	昌宏		有本	友紀
会計	堀	瑛		稲置	佳広	監査	中西	充子
幹事	杉林	雅義		織田	元宏		森山	正雄

安全・安心な貴志川線へがんばっています

和歌山電鐵 職場訪問

最近乗り心地が良くなったと思いませんか。
利用者に余り目に見えない所でがんばる「鉄道部技術課」を訪ね
技術課長の飯田敦洋さんにお聞きしました。

●技術課の仕事の内容について教えてください ●今後の課題についてお聞かせ下さい

「技術課」は社員6名で鉄道施設ならびに鉄道車両に係わる一切業務を行っている部署です。業務内容は多岐にわたり、請負工事の監督や監督官庁への報告書の作成業務、工事費の積算や工事業者ならびに材料業者との契約事務も行っていきます。

また、補助事業を円滑に執行するための事務手続きや、外部からの委託工事についても当課にて設計施工管理まで行っています。簡単に言うと「なんでも屋」ですね。

少数精鋭で頑張っているため大きな事は出来ませんが、自分達で出来ることから地道に行っています。

直接、お客様の目からわかりにくい部署ではありますが、貴志川線の永年の課題である、老朽化した設備の更新改良について関係自治体様から補助をいただきながらですが進めて行き、また鉄道会社にとって一番大事な列車の安全運行の確保に努めてまいりたいと思っています。

課長のお話を伺ったところで、技術課の将来を担う若手ホープ3名をご紹介します。

主任 小西 佑樹

技術課初の新卒採用で入社11年目のベテラン？社員。

長所は根気強さ。

主に踏切など信号設備の保守管理や工事の現場・事務作業、故障した設備の修理などもやっています。

Pizzaとpastaをこよなく愛するA型男子です。全てのお客様に安心してご利用頂けるよう頑張ります。



班長 たかやなぎ たかふみ 高柳 貴史

高卒で入社、保線を担当し11年目。主に保線設備の維持管理や毎月の工程作成をしています。

更新した設備の上を列車が安全に走行する事にやりがいを感じますし、お客様に安全な列車にご乗車して頂けるように頑張ります。



きただ てる きよ 北田 照清

私は、高卒入社4年目鉄道部技術課(車両担当)です。

主な業務内容は、車両の維持管理を担当しています。

年齢は、1996年7月29日生まれの22歳。血液型はAB型で、好きな食べ物は書ききれないほどあります。

この先、皆様に快適に貴志川線を使っただけですよう、車両の維持管理を精一杯頑張っていきます。



ご存じですか?? 貴志川線運営委員会

貴志川線の永続的運営を目的に、各団体が参加して毎月1回開催し、課題の解決に向けた協議、経営状況の開示等、運営方針決定のための意見・情報交換を行っています。



- 構成団体
- ・和歌山県 ・和歌山市 ・紀の川市 ・和歌山商工会議所
 - ・紀の川市商工会 ・県立和歌山東高校 ・県立貴志川高校
 - ・和歌山の交通まちづくりを進める会「わかやま小町」
 - ・山東まちづくり会 ・貴志川線の未来を“つくる”会
 - ・和歌山電鐵株式会社

安全性向上の取り組み進む



田中口～日前宮間の軌道更新



和歌山駅南側の踏切しゃ断器

平成30年度も、国・自治体の支援を受け、鉄道施設の更新が進められました。

田中口～日前宮間では、まさに鉄道の土台をなす線路設備(道床・マクラギ・レール)を、伊太祈曾駅では構内分岐器2か所を更新しました。

また、踏切を健全に機能させるための回路、しゃ断機などの更新も鋭意進められており、ひとつひとつ着実に改良されてきています。



2018 6月 53人参加

会報・30年度会費納入依頼発送作業、電鐵と話し合い(6月24日)

8月 ようこそ貴志駅へ

貴志駅お盆期間応援(8月11日～14日)

9月 「紀楽里(きらくり)」と命名

紀の川市観光交流拠点オープン(貴志駅前)(9月2日)

10月 ミニトレ運転、グッズ販売

「わかやま商工まつり」に電鐵と参加(10月13日、14日)

11月 フェイスペインティング かわいい猫顔 大人気

第12回「貴志川線祭り」5,000名来場(11月4日)

地域公共交通網形成計画パブリックコメント 和歌山市・紀の川市に意見提出

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、各自治体で地域公共交通網形成計画の策定が進められています。

この計画は、公共交通の現状と問題点、課題の整理を行い、公共交通のネットワークを形づくり、持続させることを目的に、地域全体の公共交通のあり方や市民・交通事業者・行政の役割を定めるものです。

貴志川線に関係する和歌山市と紀の川市でも(案)がまとめられ、意見を求めるパブリックコメントが今年1月から2月に行われました。

貴志川線の未来をつくる会は、①計画策定の「基本理念」として公共交通を社会インフラとして位置づけ確保する事、②各施策を計画のみに終わらせないための財政的な裏付けが必要である事、③協議会に公共交通活性化に取り組む住民団体の代表を加えるべき等を中心に、和歌山市に8項目、紀の川市に5項目の意見を提出しました。結果、両市において意見に対する一定の反映がなされました。

12月 15団体が意見交換

「貴志川線のさらなる発展をめざす新春交歓会」(1月27日)

2019 1月 2コースに80名

第2回「駅からウォーク&ハイキング」(2月24日、3月17日)

3月 2コースに80名

第2回「駅からウォーク&ハイキング」(2月24日、3月17日)

4月 サンタさんありがとう

クリスマス電車でプレゼント(12月23日)

5月 たくさん採れたよ

第14回「貴志川線のとってたけのご掘り」に260名(4月6日、14日、20日)

6月 またお越し下さい

GW貴志駅応援(夏、お盆もやってます)(5月3日～4日)

2018年 (平成30年)	
6月	9土 30年度第5回定例会 以降月2回年度内20回開催
	18月 「守ろう小さな命」ラッピング電車出発式
	21木 30年度第3回貴志川線運営委員会、以降月1回12回開催
	24日 会報、会費納入お願い文書発送作業(53名)
7月	4水～5木 和歌山駅9番ホームで会費受付(延べ7名)入会31名
	24水 共育支援メニューフェア・展示(3名)
8月	11土～14火 貴志駅夏季応援、記念入場券販売、案内(延べ17名)
	26日 「へたうまっぶ」を使って貴志駅周辺を歩いてみよう(1名)
9月	2土 紀の川市観光交流拠点(貴志駅前)オープン式典
	7金 台湾精華大学訪問団、和歌山電鐵訪問(貴志駅、伊太祈曽構内)
	15土 和大大沢教授ゼミ地域演習発表会(しおん)(2名)
	17月 第12回貴志川線祭り 第1回企画委員会(8名)
	23日 「へたうまっぶ」を使って外国人観光客を案内しよう(1名)
10月	4水 「チャギントン電車」出発式(3名)
	7土 紀の川市西貴志コミセンまつり、グッズ販売(5名)入会(2名)
	13土～14日 「わかやま商工祭り」・ミニトレ、グッズ販売(15名)
	18木 第12回貴志川線祭り 第2回企画委員会(7名)
	貴志川町内幼稚園、保育所貴志川線祭りポスター・ちらし配布
	21日 貴志川線祭り 会員への案内はがき発送作業(5名)
	29月 貴志川線祭り ボランティア担当指定検討会議(7名)
11月	3土 第12回貴志川線まつり準備作業(9名+電鐵社員)
	4日 第12回貴志川線まつり(来場者5,000名) スタッフ124名(役員19、ボランティア登録者63、団体42)
	8木 有功東小学校3年生貴志川線学習、つくる会活動を報告
	14水 田中口駅トイレ補修・改装工事に着手
	18日 紀の川市「フルーツライフスクール」講話 講師派遣
	25土 桜並木の手入れ(山東～大池遊園沿線)(8名)
	28水 30年度会費納入再要請文書発送作業(5名)
12月	2日 第14回市場まつり(和市中中央卸売市場)ミニトレ運転(7名)
	8土 貴志駅イルミネーション取り付け作業、点灯式(14名)
	22土 クリスマス電車プレゼント袋詰め作業(8名)
	23日 クリスマス電車運転応援(14名)(応募者350名、当選150名)
	28金 門松製作、伊太祈曽駅、貴志駅に設置(6名)
2019年 (平成31年)	
1月	5日 たま駅長誕生記念催事(ニタマ、よんたま両駅長に昇格辞令発令)
	17木 第1回四季の郷公園活性化協議会(2名)、3/22、5/8と3回
	19土 貴志駅イルミネーション撤去作業(13名)
	27日 貴志川線のさらなる活性化をめざす新春交歓会(15団体35名)
2月	24日 じゃがいも種芋植付け作業(参加者6名)
	第8回駅からウォーク第1コース(参加者29名)、(6名)
3月	9土 大池遊園駅、桜まつり飾り付け(8名)
	15金 第14回たけのご掘り、会員宛案内はがき発送作業(3名)
	17日 第8回駅からウォーク第2コース(参加者49名)、(13名)
	19土 いちご電車でいちご狩り 応援(3名)
	31水 ぶるぶる博 電鐵イベント①ウォーク応援(3名)
4月	3日 ぶるぶる博 電鐵イベント②ウォーク応援(3名)
	6土 第14回たけのご掘り(一般の部) 55名参加、(8名)
	14日 第14回たけのご掘り(一般の部) 121名参加、(9名)
	20土 第14回たけのご掘り(会員の部) 83名参加、(9名)
	大池遊園駅桜まつり飾り付け撤去(6名)
	21日 じゃがいも掘り準備 草引き(10名)
	24水 四季の郷公園活性化協議会、現地視察、ワークショップ(3名)
	27土 第90回和歌山県中央メーデー ミニトレ運転応援(3名)
	29月 たま駅長誕生日催事、濱口代表に感謝状(3名)
5月	3金～5日 貴志駅GW応援、記念入場券販売、案内(延べ14名)
	10金 会報15号第1回編集委員会(7名)
	29水 第12回じゃがいも掘り(会員の部) 抽選(4名)
	31金 会報15号第2回編集委員会(7名)
6月	8土 第12回じゃがいも掘り 準備作業(12名)
	9日 第12回じゃがいも掘り(3回で517名参加) スタッフ27名

トピックス

継続定期券の「Web予約」サービス開始

貴志川線内の定期券(和歌山駅発着を除く)を継続でお求めの際、購入3日前までに電鐵HPから申込みと、和歌山駅または貴志駅で受け取れる、というサービスが2018年7月から始められました。わざわざ伊太祈曽駅で降りたり、車で走らなくても、お出かけついでに和歌山駅でお求めいただけます、ご利用下さい。

伊太祈曽駅 P&R用駐車場に精算機導入

これまで、駐車料の支払い方が分かりづらい、きちんと支払っていない人も多いのでは?といったご意見が寄せられていましたが、2019年1月に精算機が導入されました。

初めに精算機で駐車券を購入し、車内のダッシュボードに置いて駐車する方式です(開閉バーなどの本格的な機器は手が出ませんので...)との事。

台湾国立精華大学生訪問

2018年9月と2019年1月、台湾の小学校で先生を目指す教育学部の学生さんが和歌山電鐵を訪問、小学生向けの電車教室を体験されました。

内容は貴志川線の紹介、たま駅長誕生の経緯、電車の特性、洗車体験など。

また、その他に伊太祈曽神社→平池公園→西貴志小学校→貴志駅を訪問され、当会の幹事がご案内しました。

「おかでんチャギントン」ラッピング電車出発!

和歌山電鐵の親会社・岡山電気軌道がイギリスの人気アニメ「チャギントン」を水戸岡鋭治デザインで実車化し2019年3月から運行しています。そのPRのため、車両にチャギントンの人気キャラクター、ウィルソンとブルースターを描いたラッピング広告電車を2018年10月から貴志川線で運行中です。

貴志川線の未来を“つくる”会 2019年度(令和元年)活動計画

新たな危機を克服し、地域の財産貴志川線永続への道を切り拓こう

I. はじめに

30年度は、行政の補助が欠損補助から設備整備の支援に変わった中での3年目でしたが、乗車人員は208万6千人と210万人を割り込み、和歌山電鐵発足以来最低となりました。また、収支も約3千5百万円の赤字決算となり、29年度赤字と合わせれば累積損失が5千万円となって、債務超過に陥り、民間会社として経営を続けていくには大変厳しい危機的状況となっています。

貴志川線は、沿線の就業人口の減少と少子化や、和歌山南IC開通に伴い県道整備が進むという厳しい状況の中での経営を強いられていますが、地域と暮らしを支える公共交通としての重要な位置づけはいささかも変わりません。私たちは貴志川線を必要とする住民団体として、永続を目指して利用促進を図るとともに、公共交通の維持と活性化へ交通政策の確立を求めて活動します。

II. 基本方針

地域の財産であり、なくてはならない住民の足として暮らしを支え、また和歌山県観光の大きな資源である「貴志川線」の活性化と永続をめざして、乗車人員250万人の実現へまちづくりの活動と結び、住民の利用促進、イベントの開催、公共交通の整備促進などに、和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して活動を進めます。

III. 重点目標

- (1) 経営危機克服へ輸送人員250万人の実現
- (2) 快適・便利で利用しやすい貴志川線づくり
- (3) 会員2,000人の回復
- (4) 大池遊園駅対向設備復活、日前宮～神前駅間新駅設置

IV. 具体的な取り組み

- (1) 住民の声と想いを結集して活動できる組織づくりに取り組みます
 - ① 会員拡大へ積極的に入会呼びかけを行います
 - ② ボランティアスタッフへの登録と、活動への参加を進めます
 - ③ 会員限定イベントを開催いたします
 - ④ 定例会への参加呼びかけを行い体制の強化を図ります
- (2) 利用促進と貴志川線の魅力発信へ電鐵や地域と協働して取り組みます
 - ① 「チャレンジ250万人」運動に取り組みます
 - ② タケノコ掘り、じゃがいも掘り、貴志川線祭り、ウォーキング、貴志駅春季・夏季多客期応援、駅や沿線の清掃美化、大池遊園桜まつり、クイズラリー、門松作りなどイベントに取り組みます
 - ③ 駅設備、ダイヤ、などの要望の集約と提言を行い、その実現を求めています
 - ④ 地域のイベントに積極的に参加し、活性化をめざす団体との協働に取り組みます
- (3) 広報、PR活動に取り組みます
 - ① 会報発行、入会促進リーフレット作成、ホームページの活用、「のぼり」の製作・掲出
 - ② 電鐵の危機的な経営状況を訴える沿線ポスティングを行います
- (4) 地方鉄道の存続と活性化へ学習と政策活動に取り組みます

6月	貴志川線に乗ってじゃがいも掘り 会報と会費納入依頼発送作業
7月	和歌山駅ホームで会費受付
8月	夏休みイベント(全列車乗車ラリー) 貴志駅お盆多客期応援
9月	田中口駅ペンキ塗り大会(予定)
10月	和歌山商工まつり 出店 コミセンまつり(旧貴志川町) 出店
11月	第13回貴志川線祭り 貴志駅イルミネーション
12月	クリスマス電車 迎春準備、門松製作
1月	貴志川線の活性化をめざす新春交歓会 駅からウォーク&ハイキング たま名譽駅長誕生日催事
2月	駅からウォーク&ハイキング じゃがいも掘り植付け作業
3月	いちご電車でいちご狩り 地方鉄道交流学習会(予定) 和歌山電鐵開業記念日催事
4月	大池遊園「桜まつり」 貴志川線に乗ってたけのこ掘り じゃがいも掘り草引き作業
5月	和歌山県中央メーデー 出店 貴志駅GW多客期応援 会報発行編集作業

※事情により変更される場合があります。

ボランティアスタッフ募集!

ご協力頂ける方は、お送りしております
2019年度会費振込票のボランティアスタッフ
の登録を「希望します」に○印をお付け下さい。

活動内容

駅の清掃、イベント、駅での案内・整理、
駅プランター散水・花づくり、郵便物発送
作業、情報発信(ポスター、ちらし作成)等

増量回数券

会員限定

1家に1冊

割引率はなんと20%!

1冊25枚綴りで
運賃は20枚分!

一杯飲む日のお父さんに 塾・アルバイトの日のお子さんに

お買い物の日のお母さんに 通院の日のおじいちゃん、おばあちゃんに

ご家族みんなでご利用ください。

2018年度(平成30年) 貴志川線の未来をつくる会 会計決算報告

2018年4月1日～2019年3月31日

2018年度(平成30年)会員は1,933名、ご入会ありがとうございました。

2018年度(平成30年)会計決算についてご報告いたします【2019年度(令和元年)第2回定例会で承認(2019年5月11日開催)】

一般会計

- 収入は、会員1,933名の会費と前年度繰越金および寄付金(210名、475,700円)、和歌山電鐵グッズ販売手数料、貴志川線祭り売り上げ、預金利息等で会員が前年比91名減となりましたが、収入総額は361万418円と前年並みを確保することができました。
- 支出は、事業費(利用促進イベント開催)と通信費(会費納入案内、会員限定催事案内)が約65%を占め、「たけのこ掘り」と「じゃがいも掘り」の会員限定負担等で、総額は284万9,724円となりました。
- 収入、支出の郵貯振替は、会費入金タイムラグによる年度初期の費用として運用したものです。
- 繰越金の処理について、繰越金76万694円は全額2019年度一般会計に繰り入れを行います。

「基金」および「特別会計」

- 「貴志川線整備基金」について 貴志川線の施設、車両の老朽化に備えて2007年(平成19年)から積み立てています。今年度支出は無く昨年度残額に利息128円が増額となりました。
- 特別会計は、「ニュース和歌山25周年記念助成金」(平成20年3月12日)と、「きしがわ文化財研究会」からの寄贈(平成28年4月8日)の残額で今年度支出は無く利息4円が増額となりました。

2018年度(平成30年)決算報告

〈収入の部〉

科目	金額	摘要
前年度繰越金	771,281	
会費	1,933,000	1,000円×1,933名
雑収入	601,137	寄付、グッズ販売手数料等
預り金	5,000	会費(5名)
郵貯振替	300,000	
合計	3,610,418	

〈支出の部〉

科目	金額	摘要
通信費	667,196	会費納入・イベント案内等送料、電話代
郵便振込料	138,550	会費郵便振込料1,181名(加入者負担)
広告宣伝費	123,660	会員募集チラシ、のぼり等
事業費	1,186,428	イベント開催費用、駅美化、新春交歓会等
事務費	210,589	コピー使用料、倉庫借用、事務用品等
交通費	223,301	イベント53件、スタッフ213名実費
郵貯返金	300,000	
合計	2,849,724	

〈収支決算〉

収入	3,610,418
支出	2,849,724
次年度繰越金	760,694

〈繰越金内訳〉

普通預金	614,305	(紀陽銀行国体道路支店)
現金	146,389	
合計	760,694	

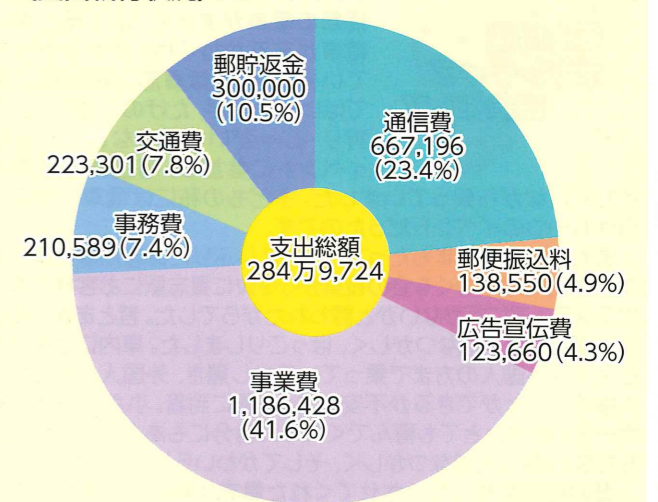
〈基金内訳〉(貴志川線整備基金)

定期預金	1,510,591	(紀陽銀行国体道路支店)
		(前期繰越1,510,463円と利息128円)

〈特別会計内訳〉

普通預金	759,510	(ゆうちょ銀行 友田郵便局)
		(前期繰越759,506円と利息4円)

〈支出執行状況〉



会計監査報告

2019年5月12日

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 木村幹生 殿

監査 森山正雄

監事 中西亮子

貴志川線の未来を“つくる”会 会則第6条第8項にもとづき2018年度(平成30年度)会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2019年5月12日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2018年度会計
4. 監査期間 2018年4月1日～2019年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

以上

ひろば

会員、交流団体の皆さまからのお便りをご紹介します。



毎朝、学校に歩いて行くとき、貴志駅行きの電車に追い越されます。今日は、どんな電車かなと楽しみにしています。土曜日、習字を習いに行くとき、西山口駅から伊太祈曽駅まで妹と電車で行きます。妹が、伊太祈曽駅にいる「よんたま駅長」を見て、「この子を触りたいな」と言いました。その時私は、触れるようになったら、海外から来てくれた人たちもきっと喜ぶだろうなと思いました。大勢の外国の人達が来ていました。なんだかうれしくなりました。この人達と話せばいいのかなと思いました。4月に貴志川線に乗って遠足で和歌山城へ行きました。毎年電車に乗って貴志川線祭りに行くのが楽しみです。とっても大勢の人が来ているので驚きます。以前、猫の顔のフェイスペインティングをもらい、その写真を鉄道雑誌に載せてくれたのでとても嬉しかったです。毎年、ジャガイモ掘りに参加しています。電車が走っているので私たちが便利に使えて面白いことも沢山あります。私たちが大人になっても貴志川線は走り続けて欲しいです。
小学5年生 金澤 杏さん(紀の川市)



貴志川線クリスマス電車のイベント「サンタさんからプレゼント」で、電車に揺られながら、貴志駅⇄和歌山駅を往復し、小さな子供たち、サンタさん、トナカイさんたちと一緒に、和歌浦アートキューブで知り合った音楽好きの仲間(有本さん、佐藤さん)と共にクリスマスをお祝いしました。リンリンと鳴らした鈴の音色が今も聞こえてきます。電車に揺られながら、みんなで「赤鼻のトナカイさん」を歌って盛り上がりました。

歌は、人の心をわくわく、ウキウキさせてくれます。まるで私のところにもサンタさんが来てくれたみたいでした。

また、貴志駅の電車の停車時間が6分間しかない中、機材の積み込み・セッティングを6分でできたのは、スタッフの方はじめボランティアの皆さんが手伝ってくださったおかげです。本当にありがとうございました。

私は音楽を通して人のご縁をたくさんいただいています。一つ一つの出会いを大切に、これからも自分のできることを精一杯頑張ろうと思います。

最後に、子供たちに大人気の和歌山電鐵さんのイベントが、これからもずっと続きますように願っています(*'v`*)

シンガーソングライター あきゆらさん(和歌山市)



「次、何電車が来ると思う?」「いちご電車!」私は小さい頃、貴志川線の電車を見によく駅に行っていました。色々な種類の電車があって、よく母と次に何電車が来るかわくわくさせながら待っていました。私は貴志川線沿線に住んではいませんが、たけのご掘り・いちご狩り・じゃがいも掘りなどたくさんイベントに参加し、毎回貴志川線にわくわくしながら乗っていました。子どもの私には電車に乗ること自体も一つのイベントだったのです。

あれからもう十年もたって、私は久しぶりに貴志川線に乗りました。きっかけは、つくる会の役員からGWに貴志駅にお客様の案内のボランティアに行かないかと誘われたからでした。昔とあまり変わらない車内の様子はなつかしく、ほっこりしました。車内には子どもから大人や外国人の方まで乗っていて少し驚き、外国人の方にもうまく接することができるか不安なまま、駅に到着。小さな子に電車のカードを渡すととても喜んでくれて、「自分にもあんなところがあつたんだな」となんだかなつかしく、そしてかわいらしいなと思いました。昔の自分をわくわくさせてくれた貴志川線に、今度は自分が多くの人を喜ばせて恩返しをしたいと思いました。

高校2年生 濱口 健さん(和歌山市)



私は大学進学とともに和歌山にきたため、あまり和歌山という土地にゆかりがなく、大学の卒業論文の研究テーマをきっかけにこの貴志川線と貴志川線の未来をつくる会について知りました。

研究を進めていく中で、貴志川線が直面している課題や、その課題に立ち向かうために様々な取り組みを行っていることを実感することができました。

現代社会はモータリゼーションの影響で自動車を使う人がほとんどです。また貴志川線を取り巻く状況も厳しく、和歌山南インターの完成など、道路整備が進む中で鉄道を利用する人はこれからも減少していくかもしれません。今後、「貴志川線がなくなっても別に不便じゃないや」と思う人も中にはいると思います。しかし、人はなくなってから本当の価値に気づくことが多いのではないのでしょうか? 貴志川線は廃線の危機に陥った経験から貴志川線の本当の大切さを理解して、活動を行っているのだということは研究を進めていく中でとても印象に残りました。そして、貴志川線や貴志川線の未来をつくる会の方々の愛情や熱意によって現在も安全に走ることができていると感じました。廃線の危機から沿線住民の方々熱意によって存続をもぎ取った経緯や、再び廃線にならないようにこの瞬間も「貴志川線のために!」と行動を起こしてくれている人がいると思います。そんな地域に愛されて、今日も走っている貴志川線は私はこれからも応援していきたいです!!

また、卒業論文を通じて様々な方に出会い、貴志川線にご縁を結んでもらったと思います。そんな出会いやご縁を今後とも大切にしていきたいと思っています。本当にありがとうございました!

野山純一さん(和歌山市)

定例会のご案内

定例会は月1回(第2土曜日 13時30分)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。



☎0734-70-1070
代表 木村 幹生まで

貴志川線の未来を“つくる”会 2019年度(令和)新規継続入会募集中

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。

2019年度(令和元年)会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会費 年額1,000円(期間:加入日に関わらず2020年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

(事務局)和歌山市伊太祈曽558伊太祈曽神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームで受付 7月3日(水)、4日(木)、5日(金) 15:00~19:30

